

事業所名

ここいろチルル

## 支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

20 日

法人（事業所）理念		・ここいちは「体力、生活力」を大切にしています。体力は活動の基本、生活力は生きるための基本と考え、心身の土台づくりと自立心を伸ばすための取り組みを創意工夫しながら進めていきます。 ・大切な生活のために、これからの自立のために、一番近くで丁寧に支えていきます。									
支援方針		・小学生を対象に、身辺自立、集団生活、個々の活動を丁寧に見守りながら、自立生活の基盤が身につくように支援していきます。 ・からだも心も成長する時期であることをふまえ、個々の感覚や行動の特性をスタッフが理解し、評価しながら日々の支援に活かしていきます。 ・「やってみようかな」「やったらできた」の経験を繰り返す中で、自信につながり個々の個性が輝くような支援をしています。 ・家族や関係機関と情報共有しながら、共に成長を見守っていきます。									
営業時間		平日	13:00	～	19:00	まで				送迎実施の有無	あり
		土曜・祝日・ 学校休業	8:30	～	17:30	まで					
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・登所後、靴やランドセル、水筒やチルルファイルを所定の場所に置けるように声かけ、誘導などを行う。トイレ、うがい、手洗いなどによる清潔の保持に努める。 ・「はじめの会」、集団活動（運動、制作など）個別活動（宿題、作業訓練、小グループでの遊び）、「おわりの会」というようにここいちチルルでの一日の流れが習慣になるように活動する。									
	運動・感覚	・集団活動（運動、公園での遊具、制作など）と個別活動（宿題、リハビリでの課題、小グループでの遊び）を通じて、個々の発達段階や感覚の特性を踏まえた取り組みを実施する。									
	認知・行動	・ここいちチルルでの活動に見通しがもてるように、ホワイトボードで共有できるようにする。視覚優位の利用者には、筆談やカード、ボディランゲージなどで意思疎通を図り、行動を促す。 ・集団活動（運動、公園での遊具、制作など）と個別活動（宿題、リハビリでの課題、小グループでの遊び）を通じて、個々の発達段階や感覚の特性を踏まえた取り組みを実施する。									
	言語 コミュニケーション	・利用者の発信内容を拒否せず、受け止めながら多様なコミュニケーションツールが身につくように支援する。 ・視覚優位の利用者には、筆談やカード、ボディランゲージなどで意思疎通を図り、行動を促す。									
	人間関係 社会性	・集団活動（運動、公園での遊具、制作など）と個別活動（宿題、リハビリでの課題、小グループでの遊び）を通じて、個々の発達段階や感覚の特性を踏まえた取り組みを実施する。									
家族支援		・送迎時にここいちチルルで過ごしている様子を伝える場を設け、情報を共有する。 ・他事業所や療育の場での取り組みの様子を共有し、日常の支援に活かす。					移行支援		・保護者からの引っ越しに伴う転校や中学校の進路などの相談があった際は、各関係機関と情報共有をし、スムーズに移行して安心して過ごせるように支援していく。		
地域支援・地域連携		・事業所のある地域での行事や同法人内事業所との合同イベントに参加する中で、地域の方や異年齢の方との交流が経験できるようにする。 ・支援会議の際、それぞれの関係機関での情報を共有、収集し役割分担について協議したうえで、今後のより良い支援につなげていく					職員の質の向上		・支援についてのケース検討や情報共有の場を随時設ける。 ・新人研修、虐待防止研修等の実施。		
主な行事等		季節の行事（お花見、水遊び、ハロウィン、クリスマス会、お誕生日会など）、地域イベントへの参加（そうめん流し、地域子ども食堂での調理実習と交流）、避難訓練									